



あべきみこ活動 REPORT

あべきみこ事務所

〒131-0043
墨田区立花4-1-8
TEL.03-3610-0777
★URL: <http://www.abekimi.info>
★e-mail: abekimi@abekimi.info



《2014年 活動報告 5月号》

墨田区議会議員あべきみこ
民主クラブ 広報・宣伝紙
東京都墨田区吾妻橋1-23-20
電話 03-5608-6197 (直通)

3月28日の本会議で採決が行われ、平成26年度予算が成立しました。

平成26年度は基本計画の後期5カ年の後半にあたります。『東日本大震災を教訓に、安全で安心して暮らせるまちをめざす』『東京スカイツリーを中心に、多数の人々でにぎわう、国際観光都市すみだをめざす』『子育て環境が整備され、高齢者を地域でみまもるまちをめざす』の3つのリーディングプロジェクトを中心に、基本計画に掲げた施策の実現に向けて積極的に取り組む予算になっています。

予算規模は、総額1598億8900万円（昨年と比べて4.7%増）、一般会計1066億1400万円（5.8%増）、国民健康保険特別会計296億7900万円（0.6%減）、介護保険特別会計187億5200万円（7.8%増）後期高齢者医療特別会計48億4400万円（3.9%増）となっています。

Action.1 施策制度要求



毎年、連合墨田の皆様と提出している政策制度の要求書の回答説明会を3月25日に墨田区役所において開催しました。

連合墨田は中村議長、山崎事務局長をはじめ役員・事務局計9名が出席し、墨田区からは山崎区長、久保副区長、高橋広報担当課長に対応いただきました。

山崎区長より公共工事の請負契約についてお話をいただいた後、連合墨田からは公契約について墨田区の考え方を伺うなど、質疑応答や意見交換を行いました。

※ 政策制度の要求書は連合に加盟している組合員の皆様のご意見や要望を元に、雇用・労働対策、環境、安心安全の街づくり、交通対策、教育・子育て、福祉対策等多岐にわたる内容を集約し、政策制度の要求書として取りまとめたものです。



Action.2 予算特別委員会

2月26日から3月12日まで平成26年度予算を審議するの予算特別委員会が開催されました。予算特別委員会は各款別に審査が行われ、総括質疑が2日間、最終日に採決が行われました。私『あべきみこ』も委員として質問し意見を述べました。

委員会の中では、子育て支援として保育園待機児童の解消、防災対策に女性の視点を反映させるために防災会議への女性の参画、調布市の小学校で食物アレルギーの児童死亡事故を受け学校給食の食物アレルギーの対策、平成27年度の介護保険制度改正で従来の要支援1.2の方が訪問介護・通所介護の予防給付の対象から除外されることに伴い、訪問介護と通所介護を利用していた人々への対応が極めて重要な課題とされることから、その人々への対応をどうするのか等、暮らしの安心・安全についてを中心に質問にたちました。

詳しい質疑、意見内容は墨田区議会ホームページの議事録で検索できます。



区政報告会ご案内

- ★ 日 時：平成26年7月5日（土）
 受付 5：45～ 開始 18：15
- ★ 場 所：曳舟文化センター
 （2階レクホール）
- ★ 会 費：3,500円（後援会費を含む）
- ★ 主 催：あべきみこ後援会
- ★ 申 込：あべきみこ事務所 ☎ 03-3610-0777
- ★ 締 切：6月30日（会場設営の都合上事前にお申し込み下さい）

《地図》



あなたも民主党に参加しませんか？

民主党の運営と活動を支え、ともに行動する〈党员・サポーター〉を募集しています。

党员とは？

- 民主党の基本理念と政策に賛同する18歳以上の方なら、どなたでもなれます。
(在外邦人または在日外国人の方でもOKです。)
- 党費は、年間6,000円です。
- 資格期間は、お申し込み手続きが完了した日から1年間です。
- 党员は、代表選挙で投票することができます。
- 党员は、民主党の運営や活動、政策づくりに参画することができます。
- 党员は、民主党の広報紙「プレス民主」（月2回発行）が送付されます。
- 党员の権利や活動は、民主党規約や組織規則・倫理規則で定められており、それ以外の義務やノルマ等はありません。

サポーターとは？

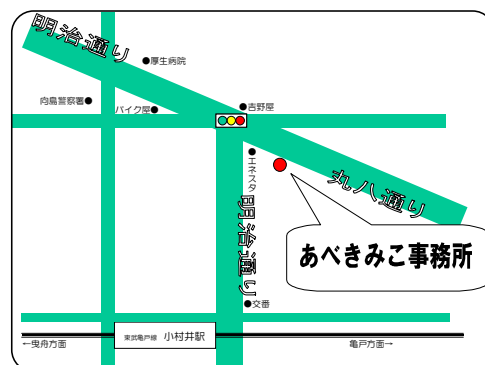
- 民主党を応援したい18歳以上の方なら、どなたでもなれます。
(在外邦人または在日外国人の方でもOKです。)
- 会費は、年間2,000円です。
- 資格期間は、お申し込み手続きが完了した日から1年間です。
- サポーターも、代表選挙で投票することができます。
- サポーターも、民主党が主催する講演会や勉強会・イベント・選挙ボランティアに参加することができます。



ただ今、あべきみこ後援会「墨田げんき応援団」への参加を大募集しています。後援会にご加入いただき、「あべきみこ」と一緒に『元気なすみだ』をつくりましょう。

★問い合わせ先★

〒131-0043東京都墨田区立花4-1-8
Tel：03-3610-0777 fax：3610-0770
mail：abekimi@abekimi.info



平成26年度の墨田区の予算が決まりました

高齢者の皆様が住みなれた街で暮らし続けるために

高齢化が進む一方で医療・介護など社会保障の面では施設数やサービスについてはまだまだ十分とはいえません。

しかしながら核家族化や地域のコミュニティが希薄になるなかで、高齢者の皆さんが住みなれた街で暮らし続けることができるよう高齢者施設の充実や、地域密着型サービスの整備、高齢者のみまもりの充実などにつとめてまいります。

★ 旧木下川小学校跡地に特別養護老人ホームを平成29年4月に開設予定です。また民有地を活用し特別養護老人ホームの建設については、25年度に公募・選定が行われた事業者者に整備費の一部を助成することにより特別養護老人ホームの整備を促進します。

★ 高齢者の自立支援としてこれまで行われてきた住宅改修助成が、介護認定で該当しなかった人を対象に転倒防止効果が高い「段差解消」、「洋式便器への取替」の改修事業についても助成が行われるようになります。

★ 高齢者の見守りの強化として認知症サポーターの養成、高齢者みまもり相談室にオレンジステーションが設置されます。



スカイツリー効果をいかし活力ある「すみだ」らしさの息づくまちをつくる

平成25年に開業したスカイツリーは平成25年12月に展望デッキの累計来場者が1,000万人を超え、多くの観光客が訪れ、大きな賑わいを創出しています。スカイツリーを中心とした観光まちづくりの推進と区内回遊を促進し「観光都市すみだ」の実現に向けスカイツリーを起爆剤にした地域産業の活性化を推進してまいります。

★ スカイツリータウン内のひろばを活用し一年中まち歩きや舟運観光を楽しむことができる街としての魅力を発信します。

★ 2020年の東京オリンピック開催でさらなる外国人観光客の増加が予想され、Wi-Fiスポットの設置や「タブレット型端末」の貸出で受入体制が強化されます。

★ おしなり公園船着場、吾妻橋船着場付近と東京スカイツリー周辺主要道路の景観整備備することで「国際観光都市すみだ」の魅力と水辺空間を活用した賑わいを創出。

★ 区内のものづくりの活力再生を図るため地域内事業承継の支援や区内の空き工場を改修・活用し「ものづくり創出拠点」を整備していきます。



次世代を担う子どもたちのために

近年核家族化や少子化等の影響で子育てに関する地域のつながりが薄れてきています。また女性の就労形態の多様化や、長引く不況の影響で働きに出るお母さん、ひとり親家庭の増加などで毎年保育園の待機児童が増えています。今、多様な家庭の状況に対応した子育て支援が求められています。

★ 年々増加する保育園の待機児童の解消策を図ります。

- ①私立認可保育園の開設・認証保育所から認可保育園への移行で保育定員の拡大を図ります。
- ②保育ママの質の確保や必要に応じた相談体制を整えることにより保育ママの増員を図ります。

★ 民間提案による保育室の整備として、グループ型家庭的保育室、定期利用保育室の新設やグループ型小規模保育事業を拡充します。

★ いじめ防止対策の充実を図るため東京都が配置しているカスクールウンセラーに加え、区がさらに週1回のスクールカウンセラーを追加配置します。

★ 学校給食アレルギーの事故防止・予防対策としてカラートレイの導入や学校職員に対しての食物アレルギー対応研修を実施します。



災害に強いまち、安心していきいきらせるまちをつくる

首都直下地震や南海トラフ地震等による新たな被害想定に基づいて区の地域防災計画を見直し、災害に強いまちづくりを推進してまいります。

また東日本大震災を教訓に安全で安心して暮らせるまちづくりを推進してまいります。

★ 災害時に一時集合場所に指定されている公園等に避難誘導機能を備えた「ソーラー照明付き園名板」と「ソーラー園内灯」を整備します。

★ 防災情報の効果的な提供として電話自動応答サービスの導入と防災対策の強化として全町会・自治会へスタンドパイプを配布します。(25年度26年度で順次)

★ 女性に配慮した防災対策の充実として女性の防災対策懇談会の設置と、避難所へ女子用トイレを配備します。



これからもより良い、住みやすい街づくりを目指し頑張っ参ります。ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

墨田区議会議員 あべきみこ